

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年1月20日(2011.1.20)

【公表番号】特表2009-528275(P2009-528275A)

【公表日】平成21年8月6日(2009.8.6)

【年通号数】公開・登録公報2009-031

【出願番号】特願2008-552537(P2008-552537)

【国際特許分類】

| | | |
|--------|--------|-----------|
| C 07 C | 59/90 | (2006.01) |
| A 61 P | 3/10 | (2006.01) |
| A 61 P | 9/10 | (2006.01) |
| A 61 P | 15/00 | (2006.01) |
| A 61 P | 9/12 | (2006.01) |
| A 61 P | 3/06 | (2006.01) |
| A 61 P | 13/12 | (2006.01) |
| A 61 P | 27/02 | (2006.01) |
| A 61 P | 25/00 | (2006.01) |
| A 61 P | 17/02 | (2006.01) |
| A 61 P | 27/12 | (2006.01) |
| A 61 K | 31/192 | (2006.01) |
| C 07 C | 59/66 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|--------|--------|-------|
| C 07 C | 59/90 | C S P |
| A 61 P | 3/10 | |
| A 61 P | 9/10 | |
| A 61 P | 15/00 | |
| A 61 P | 9/10 | 1 0 1 |
| A 61 P | 9/12 | |
| A 61 P | 3/06 | |
| A 61 P | 13/12 | |
| A 61 P | 27/02 | |
| A 61 P | 25/00 | |
| A 61 P | 17/02 | |
| A 61 P | 27/12 | |
| A 61 K | 31/192 | |
| C 07 C | 59/66 | |

【手続補正書】

【提出日】平成21年11月30日(2009.11.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

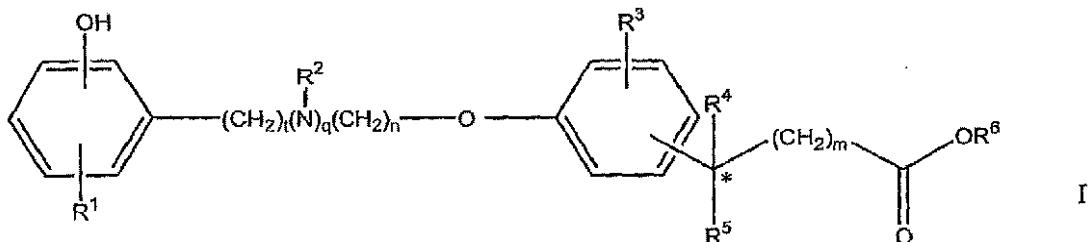
【請求項1】

インシュリン抵抗性症候群、I型糖尿病およびII型糖尿病を含む糖尿病ならびに多嚢胞性卵巣症候群からなる群より選択される状態の治療；または糖尿病に関連するアテローム硬化症、動脈硬化症、肥満、高血圧症、高脂血症、脂肪肝、腎症、神経障害、網膜障害

、足潰瘍もしくは白内障の治療またはそれを発生させる可能性の低減；または高脂血症、悪液質および肥満からなる群より選択される状態の治療のための医薬品の製造における生物学的に活性な因子の使用であって、

該因子は、式：

【化1】



の化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩であって、式中、

nは、1または2であり；

mは、0、1、2、3または4であり；

qは、0または1であり；

tは、0または1であり；

R¹は、水素、ハロ、ヒドロキシ、1個または2個の炭素原子を有するアルキル、ペルフルオロメチル、1個または2個の炭素原子を有するアルコキシおよびペルフルオロメキシであり；

R²は、1個から3個の炭素原子を有するアルキルであり；

R³は、水素、ハロ、1個から3個の炭素原子を有するアルキルまたは1個から3個の炭素原子を有するアルコキシであり；

R⁴およびR⁵の一方は水素またはヒドロキシであり、他方は水素であり；またはR⁴およびR⁵は一緒になって=Oとなり；

R⁶は、水素、または1個、2個、3個、4個または5個の炭素原子を有するアルキルである、

使用。

【請求項2】

nは1であり；qは0であり；tは0であり；R³は水素であり；mは0、2または4である、請求項1に記載の使用。

【請求項3】

前記化合物が、

4-(3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル)-4-オキソ酪酸

3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル酢酸、および

4-3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル)-4-ヒドロキシブタン酸

からなる群より選択される、請求項2に記載の使用。

【請求項4】

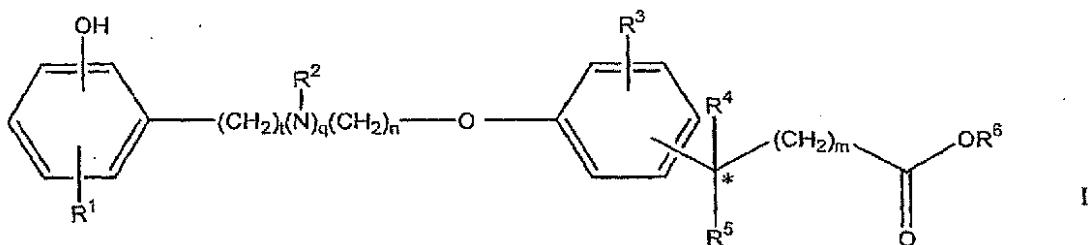
前記医薬品は経口投与用に処方される、請求項1、2または3に記載の使用。

【請求項5】

インシュリン抵抗性症候群、糖尿病、多嚢胞性卵巣症候群、高脂血症、脂肪肝、悪液質、肥満、アテローム硬化症および動脈硬化症からなる群より選択される状態を有する哺乳動物被験体を治療するための組成物であって、生物学的に活性な因子を含み、

該因子は、式：

【化2】



の化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩であって、式中、

nは、1または2であり；

mは、0、1、2、3または4であり；

qは、0または1であり；

tは、0または1であり；

R¹は、水素、ハロ、ヒドロキシ、1個または2個の炭素原子を有するアルキル、ペルフルオロメチル、1個または2個の炭素原子を有するアルコキシおよびペルフルオロメチルであり；

R²は、1個から3個の炭素原子を有するアルキルであり；

R³は、水素、ハロ、1個から3個の炭素原子を有するアルキルまたは1個から3個の炭素原子を有するアルコキシであり；

R⁴およびR⁵の一方は水素またはヒドロキシであり、他方は水素であり；またはR⁴およびR⁵は一緒になって=Oとなり；

R⁶は、水素、または1個、2個、3個、4個または5個の炭素原子を有するアルキルである、

組成物。

【請求項6】

nは1であり；qは0であり；tは0であり；R³は水素であり；mは0、2または4である、請求項5に記載の組成物。

【請求項7】

前記化合物が、

4-(3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル)-4-オキソ酪酸

3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル酢酸、および

4-3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル)-4-ヒドロキシブタン酸

からなる群より選択される、請求項6に記載の組成物。

【請求項8】

前記被験体はヒトである、請求項5、6または7に記載の組成物。

【請求項9】

前記因子は1日当たり1ミリグラムから400ミリグラムの量で経口投与される、請求項8に記載の組成物。

【請求項10】

前記状態はインシュリン抵抗性症候群またはII型糖尿病である、請求項5に記載の組成物。

【請求項11】

前記治療は、糖尿病に関連するアテローム硬化症、肥満、高血圧症、高脂血症、脂肪肝、腎症、神経障害、網膜障害、足潰瘍および白内障からなる群より選択される糖尿病の症状、または糖尿病の症状を発生させる可能性を低減する、請求項5に記載の組成物。

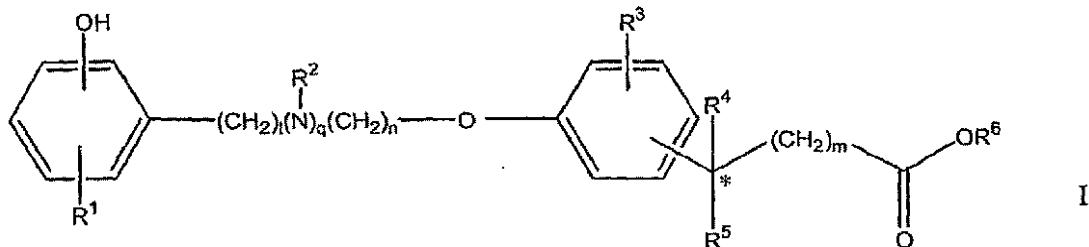
【請求項12】

インシュリン抵抗性症候群、糖尿病、多囊胞性卵巢症候群、高脂血症、脂肪肝、悪液質、肥満、アテローム硬化症、動脈硬化症からなる群より選択される状態の治療に使用され

、経口投与用に適合された医薬組成物であって、医薬として許容し得る担体および1ミリグラムから400ミリグラムの生物学的に活性な因子を含み、

該因子は、式：

【化3】



の化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩であって、式中、

nは、1または2であり；

mは、0、1、2、3または4であり；

qは、0または1であり；

tは、0または1であり；

R¹は、水素、ハロ、ヒドロキシ、1個または2個の炭素原子を有するアルキル、ペルフルオロメチル、1個または2個の炭素原子を有するアルコキシおよびペルフルオロメチキシであり；

R²は、1個から3個の炭素原子を有するアルキルであり；

R³は、水素、ハロ、1個から3個の炭素原子を有するアルキルまたは1個から3個の炭素原子を有するアルコキシであり；

R⁴およびR⁵の一方は水素またはヒドロキシであり、他方は水素であり；またはR⁴およびR⁵は一緒になって=Oとなり；

R⁶は、水素、または1個、2個、3個、4個または5個の炭素原子を有するアルキルである、

医薬組成物。

【請求項13】

nは1であり；qは0であり；tは0であり；R³は水素であり；mは0、2または4である、請求項12に記載の医薬組成物。

【請求項14】

前記化合物が、

4-(3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル)-4-オキソ酪酸

3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル酢酸、および

4-3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル-4-ヒドロキシブタン酸

からなる群より選択される、請求項13に記載の医薬組成物。

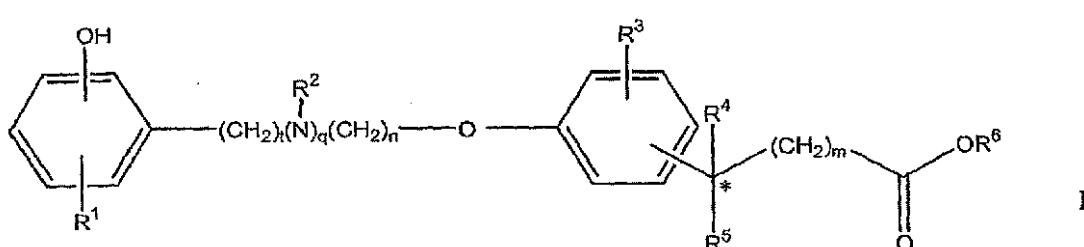
【請求項15】

経口剤形である、請求項12、13または14に記載の医薬組成物。

【請求項16】

式：

【化4】



化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩であつて、式中、

nは、1または2であり；

mは、0、1、2、3または4であり；

qは、0または1であり；

tは、0または1であり；

R¹は、水素、ハロ、ヒドロキシ、1個または2個の炭素原子を有するアルキル、ペルフルオロメチル、1個または2個の炭素原子を有するアルコキシおよびペルフルオロメトキシであり；

R²は、1個から3個の炭素原子を有するアルキルであり；

R³は、水素、ハロ、1個から3個の炭素原子を有するアルキルまたは1個から3個の炭素原子を有するアルコキシであり；

R⁴およびR⁵の一方は水素またはヒドロキシであり、他方は水素であり；またはR⁴およびR⁵は一緒になつて=Oとなり；

R⁶は、水素、または1個、2個、3個、4個または5個の炭素原子を有するアルキルである、

化合物または該化合物の医薬として許容し得る塩。

【請求項17】

nは1であり；qは0であり；tは0であり；R³は水素であり；mは0、2または4である、請求項16に記載の化合物または塩。

【請求項18】

前記化合物が、

4-(3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル)-4-オキソ酪酸

3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル酢酸、および

4-3-(2,6-ジヒドロキシベンジルオキシ)フェニル)-4-ヒドロキシブタン酸

からなる群より選択される、請求項17に記載の化合物または塩。